

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 3月31日

事業所名 根室市児童デイサービスセンター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	② 職員の配置数は適切であるか	○		職員室不在時は玄関に掲示にて告知	
	③ 生活空間は、本人が分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			○ 利用児童が昇降の際は、必ず付き添う	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動にあわせた空間となっているか	○			建物の古さは否めないため、定期的な清掃を継続し清潔感のある空間を維持する。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるため、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑨ 職員の資質の向上を行なうために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行なわれているか	○			
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行なっているか	○			
	⑮ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行なわれる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日に行なわれた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑲	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	㉑	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行なっているか	○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の支援をしている場合)地域の保険、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか	○			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の支援をしている場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	○			
	㉕	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		入園・転園の際に調書の作成を行う	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		引継ぎの実施	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉘	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				利用児の大半の活動主体が保育所・幼稚園通園児童であるため、非該当。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉛	保護者の対応力の向上を図る視点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行なっているか		○		利用形態から通常の利用(療育)時に行うことは難しいため、他機関主催の研修会などについて案内を行う。
	保護者への説明責任	㉜	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか	○		
㉝		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援の内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
㉞		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	○			

任 等	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	㉖	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		療育時間内で対応が不足する場合には、別時間帯での相談対応を実施	
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	㉘	個人情報に十分注意をしているか	○			
	㉙	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営をしているか		○		保護者の希望（通所を知られたくない方）や過敏さなど特徴のあるお子さんが対象であるため、今後も難しい。
非 常 時 等 へ の 対 応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行なっているか	○			月2～4回のシフト制通所のため、全ての児童を対象とすることができない。
	㉝	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		アセスメントの徹底	
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか				食事提供がないため、非該当。
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	㊱	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	㊲	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束が必要なお子さんは保護者への説明を徹底している	

○ この「事業者における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行なった自己評価です。